
crazycatnight

ユキロー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

c r a z y c a t n i g g e t

【ZPDF】

Z0756A

【作者名】

コキロー

【あらすじ】

- 現代であって、現代では無い。しかし未来であって未来でも無い。あるいは過去であって、過去でも無い - それではこの世界はなんなのだ？新選組をモチーフに製作。あの芹沢、新見が生きている！？かの有名な鬼の副長が女！？作者の妄想で作られる新選組の物語。

「匠の猫が『ナア～』と歌つ（前書き）

パケ代を気にしない御仁。「しゃ～ない。読んでやろうではないか」という、尊大なお子様、お姉様、お兄さん、奥様方、おとつつかん、おじいさん、おばあちゃん。読んでやってください。作者が喜びます。小踊りしますから

「巨の猫が『ナア』と歌う

（この文題は、原作の歌詞をもじったもの）

壹 - SFの物語でよく使われる20XXXX年。
それを真似して…俺が今生きる200XX年。

…今、あんたが生きてる時代とあんま変わんねえだろ？あんたらが
着ている服…スーツ、ジーパン、スカート、コート。
俺らも着てたんだぜ？ウチの事務所、スーツ着用が義務だったから
な。

まあ各自改造したけどね。

ハハツ…ひとつ聞くけど今あんたが生きてる世界は…その…平和か
い？…

「ねえ…ちゃんと聞いてるの…？」

「ん？」

「さっきからあなたは聞き流してばっかり…少しあはいから身にも
なってほしいわ！！！」

彼女は今日の事をとても怒つてる

「わかつてるよ。山南女史？」

「いいえ！あなたはわかつてないわ！今日ばかりで済んだけどこれ
からまた厳しくなる。それに病気の事も…」

「アハハ…済まなかつたよ。本当に氣をつけながら
「ハア…いつもやつ言つて空返事。」

「良くわかつてるね。」

そこにまた彼女は顔を真つ赤にして怒り出す

「沖田君…！」

……じゃあもうヒーリングの世界を見せてやるよ。

お前等が逆立ちしても空を飛んでも武器を持つても出来ないモノ、見せてやるよ俺等はそれをやつてきた。

マネする必要はネエよ？知つて欲しいだけさ沖田誠。

それが俺の名だ。

式 まず事務所の事を話さなきやいけない」は、この地区の一画を担う事務所、仕事は表向きには要人護衛、保護、警護、その他諸々、地区を守るのも仕事だが…いや、どうせ本業なんて説明しなくても後々わかる事だ

「沖田さん。聞きましたよ？」

「何をだい？」

「また。山南さんを怒らせたりしてえ。会計方が愚痴こぼしてましたよ。山南の姉さんは一度機嫌悪くすると、なかなか仕事をしてくれないって！」

「アハハツそりゃ悪い事したなあ。あの後も3時間も説教されっぱなしだったよ」

「3時間で…また新記録更新ですね（笑）。…確か前は、えつと…2時間25分？」

「それは違うなあ。山崎君。2時間38分だ。それはひとつ前のものだ。」

「…まさか…狙つてます？」

「やつ思ひ？」

事務所は居心地がいい。

思い出したくないことだつて沢山ある。

だけどここにはそれ以上に沢山の思い出が残ってる。

誰もがみんな自分の信念を持つてて、それに一生懸命だった。自分が此処にいられたことがとても嬉しかった。

『激動』。

自分の人生を一言で示せというなら確実にこれだと思う。激動の時代の中心にこの事務所と自分がいる。

『激動』を語れる事を光榮に思うこれが僕らの時代だ参 僕らの世界は東西南北の四つの國に別れている。

各國にはそこを治める統領が存在する東の國、東凱。

西の國、永西。

南の國、蓬南。

北の國、双北。

四つの國は今までにも反発を繰り返し時には助け合ったり、牽制しあつてきたこの事務所は永西の統領、神崎栄一郎の管轄下にある「ああ。俺、前々から沖田さんに聞きたい事があつたんです」

「？」

「沖田さんの武…」

ビーー・ビーー・ビーー・ビーー…山崎の質問を遮るかのようにけたましい警報が鳴り響いた

「その質問はまたの機会にしようか?」

「お互い忙しい身ですね」

そう言い終わる前に一人は走り出したこの事務所には総勢100名に満たなくとも、この地区にしては、大所帯の方で活氣があるそしてその四捨五入100名には、それを統べる長と副長、その下に隊長等の階級みたいなものが存在する

「遅い!何をしていた?」

「すいません。土方さん」

副長、土方千歳。

女性が副長を任される地区は意外に無く、女性ながら戦闘は他の者に引けを取らず、それだけではなく軍師としても才能を開花し、それは『鬼姫』の一つ名を持つほどに

「さあ、、今日の任務を説明する。心して、聞け」

一匹の猫が『ナア～』と歌う（後書き）

書きたかった理由は、新選組が大好きだからです！ただただそれだけで頑張ります

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0756a/>

crazycatnight

2010年10月10日06時29分発行